

国立遺伝学研究所運営会議（第143回）議事要旨

日 時 2024年10月28日(月) 14:00 ～ 15:50

場 所 国立情報学研究所19階1902, 1903会議室

出 席 (所外委員) 大杉委員、胡桃坂委員、塩見委員、菅野委員 (副議長)、高橋(智)委員、
高橋(淑)委員、田畑委員、西田委員
(所内委員) 仁木委員、黒川委員、平田委員 (議長)、鐘巻委員、有田委員、前島委員、
北野委員、岩里委員、澤委員

運営会議が出席を必要と認めた者 花岡所長
事務局 管理部長、総務企画課長、その他関係職員

会議に先立ち、事務局から、会議の成立要件の定足数（過半数の出席）を満たしている旨の報告があった。

(所長挨拶)

所長から、挨拶があった。

議 事

審議事項

(1) 研究教育職員の人事について

所長から、本人事の背景について説明があり、次いで、人事委員会委員長である前島委員から、人事委員会において適任者として選考した候補者の研究業績、選考の経過及び選考結果等について、資料1に基づき、説明があった。運営会議申し合わせ「重要案件の採決方法について」に基づき、投票を行った結果、候補者が得票総数の過半数の可票を得たことから、原案どおり承認した。

報告事項

(1) 研究教育職員の人事異動について

所長から、研究教育職員の人事異動について、資料2に基づき、報告があった。

(2) 令和7年度概算要求の主な事項について

仁木委員から、令和7年度概算要求の主な事項について、資料3に基づき、概要の報告があった。次いで、黒川委員及び有田委員から要求事項の詳細について説明があった。

(3) 国際交流協定の締結について

所長から、国際交流協定の締結について、資料4に基づき、報告があった。

(4) 総合研究大学院大学先端大学院遺伝学コース2024年度10月入学者について

所長から、総合研究大学院大学先端大学院遺伝学コース2024年度10月入学者について、資料5に基づき、報告があった。

その他

●国立遺伝学研究所長候補者選考規程に関する意見交換について

国立遺伝学研究所長候補者選考規程及び選考方法等について意見交換が行われた。意見交換の概要は以下のとおり。

- ・被推薦者の内諾を先に得てからの推薦は難しく、遺伝研教員や運営会議委員の反応を見ながら推薦について考えたい。
- ・運営会議とは別で行ったZoomによる意見交換会は意義深かった。
- ・遺伝研内の意見が運営会議委員に伝わるのが重要であり、特に所外委員へは、所内意見の分布が分かるとよい。
- ・運営会議委員により所長候補者選考を行うのではなく、選考委員会を別に設置するべきではないか。
- ・規程において、所内の意見聴取の明文化や用語の明確化が必要だと考える。特に、「適任者」及び「年長者を優先とする」表記については検討が必要である。また、今回の選考では投票前に議論の時間を設けたが、規程には記載がないため、これを一つの慣習として残せたらよい。
- ・第2回目と第3回目の会議の間に被推薦者の中から所信を聴く人を選別する追加の議論が必要かもしれない。（会議又はメール審議）
- ・所信を聴く機会を投票日の前の回とするか又は投票日とするのか、検討の余地があるかもしれない。今回は運良く投票日の前の回に実施できたが、実際には一日に候補者全員を集めることは不可能に近い。両日所信を聴くことにしないと無理だと考える。

議長から、10月23日に開催された機構教育研究評議会での審議を経て、運営会議が所長候補者として推薦した近藤滋氏が次期国立遺伝学研究所長に決定した旨報告があり、次いで、花岡所長から退任の挨拶があった。

以 上